令和８（2026）年度　登録コンクリート圧送基幹技能者認定試験
合格基準および総評について

令和 8 年 10 月 31 日
登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会

【合格基準】

択一式問題	25 問，50 点満点
計算問題	5 問（解答数計 15 題），30 点満点
記述式問題	問題 1（800 字），13 点満点
	問題 2（400 字），7 点満点

① 択一式問題の得点数が 28 点以上
② 計算問題の得点数が 14 点以上
③ 記述式問題 1 の得点数が 7.5 点以上
④ 記述式問題 2 の得点数が 3.5 点以上
以上①～④の得点数をすべて満たした者を合格とする。

申込者数：73 名（うち，講習完了者数：63 名，受験者数：71 名）
合格者数：52 名
合格率　：71.2%（対申込者数）　　・・・参考：令和 7 年度の合格率は 74.6%
令和 6 年度の合格率は 71.8%

【総評】

本年度（令和８年度）の登録コンクリート圧送基幹技能者認定講習は，千葉県船橋市で開催しました。会場関係者，講師，事務局ならびに受講者・受験者の皆様のご協力により，体調不良者を出すことなく，試験を含む全日程を無事に終了することができました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて，本年度の講習は，例年にも増して熱心に取り組まれていました。コンクリートポンプ圧送マニュアルと講習テキストを事前配布し，予習や事前課題に取り組めるよう配慮もしましたが，90%を超える受講者が自主的に予習を行い講義に臨まれていました。また，全圧連ホームページに「過去問題」を掲載し，試験対策が行える環境を整えていますが，80%を超える受講者がこれに取り組まれたようです（以上，アンケート結果より）。記述式問題を事前提出した受講者が 27 名に上り，昨年（16 名）に対して多くの方々が事前対策を行っていました。このような方々のほとんどが「合格」に至っています。

本年度の合格率は，昨年度・一昨年度よりもやや低い 71.2%となりました。事前課題など，しっかりと対策された方々と，準備不足が露呈した方々の二極化が強まる傾向でした。不合格となった方々の中には，一部の問題はよくできていても，別の問題ができておらず，残念ながら合格基準に達しなかった方がいます。資格認定には，すべての講習内容についての理解を必要としており，この点を踏まえて，再度のチャレンジを期待しています。

昨年度あるいは一昨年度に不合格となり，本年度講義を受けずに追加試験にチャレンジされた方々（2 度目，3 度目）においても，8 名中 5 名が合格に至っています。不合格をバネにしてしっかりと対策されたものと思います。

各試験問題の答案を分析した結果について，認定委員会の見解を以下にまとめましたので，今後の参考にしてください。

・択一式問題（50 点満点）

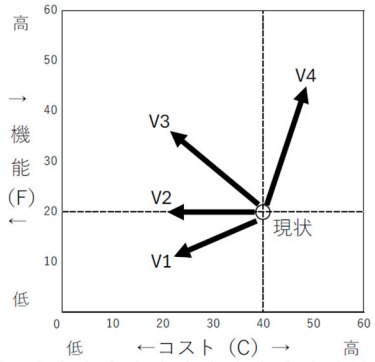
28 点以上を合格としました。やや難解な問題が含まれていたため，例年よりも 2 点低いボーダーラインを設けました（ここ数年は 30 点以上）。平均点は 36.1 点で，これまでよりもやや低い結果でした。高得点を得た人が多かったのに対し，得点が伸びなかった一部の受験者が平均点を押し下げる結果となりました。

今年度の試験は，「適当なものはいくつあるか」「不適当なものはいくつあるか」という，該当数を問う形式の問題を 4 題出題しました。このうち，VE に関する**問題 3** の正答率は 15.5%，技術者倫理に関する**問題 25** の正答率は 42.3%であり，他の問題と比較して低い結果となりました。今後は，設問の表現についても，受験者が出題意図をより的確に理解できるよう検討してまいります。

VE は「製品やサービスの価値を大きくするもの」ですが，機能をそのままにコストを下げることも該当します（**問題 3** の V2）。したがいまして，**問題 3** において VE に該当するのは，V2，V3，V4 の 3 つとなります。正答率は低い結果となりましたが，VE の基本概念を改めて確認していただきたい内容です

問題 3　製品やサービスの価値を大きくする VE（Value Engineering）手法を示した下図のうち，VE 手法として**適当なものはいくつあるか**。

（1）1 つ
（2）2 つ
（3）3 つ
（4）4 つ



【正解：（3）】
【正答率】15.5%

選択肢	（1）	（2）	（3）	（4）
回答率	9.9%	69.0%	15.5%	5.6%

技術者倫理に関する**問題 25** では，「抵触しないものはいくつあるか」といった設問文が分かりにくく，正答率を下げたのかもしれません。技術者倫理は，常に意識して日頃業務に当たっていらっしゃると思います。 (4)は，明らかに倫理感に抵触し，やってはならない行為です。それ以外の(1)，(2)，(3) は，いずれも倫理感に抵触しません。むしろ，安全確保を重視した提案や要望であり，積極的に実施すべき行為です。是非，実践してください。

問題 25　登録コンクリート圧送基幹技能者としての倫理に関する次の（1）～（4）の記述のうち，**倫理感に抵触しないものはいくつあるか。**

（1）コンクリートポンプ車の設置場所が土露出地盤であったため，現場監督に敷鉄板の敷設を要請した。
（2）コンクリートポンプ車のアウトリガを完全張り出しで設置することができなかったため，配管作業により圧送を行うことを現場監督に提案した。
（3）コンクリートの圧送作業に当たり，ブーム先端に鉛直方向の延長配管を施す必要が生じたため，ブームを使わず配管作業による圧送に変更することを現場監督に要望した。
（4）現場の圧送工事の状況を，自社の PR の目的で撮影し，現場の許可なく SNS に投稿した。

（1）4 つ
（2）3 つ
（3）2 つ
（4）1 つ

【正解：（2）】
【正答率】42.3%

選択肢	（1）	（2）	（3）	（4）
回答率	1.4%	42.3%	15.5%	40.8%

このほか，コンクリートポンプ車の運行前点検に関する**問題 14**，およびブーム付きコンクリートポンプ車のモーメントに関する**問題 15** の正答率が 50%に届きませんでした。日常的にコンクリートポンプを取り扱っている皆様には，改めて問題を見直し，正答を確認していただきたいと思います。

・計算問題（30 点満点）

例年と同じ 14 点以上を合格としました。平均点は，20.1 点で，例年と変わらない結果でした。

コンクリートの配合計算や粗骨材のふるい分け試験に関する問題は，例年よりも正答率が高く，学習の成果が見られました。

圧送計画に関する計算問題については，概ね 7 割を超える高い正答率となりました。事前学習や講習会での自由研究も手助けになったものと思われます。ただし，例年と同様，輸送管の仕様（肉厚）の選定にかかわる設問の正答率が 30%程度と低かったのが残念です。予測される管内圧力に応じた適切な仕様（肉厚）の輸送管を選定し，輸送管の破裂やそれに伴う物損・人身事故の撲滅に努めていただきたいと強くお願い申し上げます。

実務において安全な作業を行うためには，計算に関する知識が不可欠です。これらの知識は，講習を受講するだけで十分に定着するものではありません。日常業務の中で繰り返し確認するとともに，過去問題や今回配布した事前課題に継続して取り組み，確実に身に付けてください。また，これから登録基幹技能者を目指す後輩に対しても，コンクリートポンプ圧送マニュアルを活用した継続的な学習と，疑問点を整理した上で講習に臨むことの大切さを伝えてください。

・記述式問題（問題１：13 点満点，問題２：7 点満点）

昨年度と同様の出題形式としました。

問題１は，昨年度と同じ 7.5 点以上を合格としました。設問の①～④（問われていること）に対して，明確に記述する能力を問いました。問われていることに対して，的確に答えることは基幹技能者として必要不可欠な能力です。講義で学んだ文章の書き方や，講師から受けた添削指導を反映させられたものと思います。①は経験したトラブルや事故の概要，②は発生時の対応（応急措置），③は未然に防止するための手段（恒久対策），④は後輩・部下への伝承（指導方法）と，整理することができれば，設問に沿って記述できたはずです。例年よりも，よく書けていましたが，①～④のそれぞれの記述が合格基準に達していないものについては，不合格としました。

なお，この**問題１**の②とっさの応急措置，③振り返りによる恒久対策の立案，④経験・知識の伝承をきちんと行うことは，基幹技能者としての大切な資質であり，所属会社および圧送業界の地位を向上させる大切な行為です。PDCA を実践し，安全作業を継続してください。

問題２は，昨年度と同じ 3.5 点以上を合格としました。頻発する熱中症の重症化防止について，①部下に対して行うべきこと，②元請の対策について提案したいこと，それぞれに分けて問いました。①部下と②元請に対象を分け，それぞれに考えを記述する能力を問いました。①部下・同僚への配慮・指導と発症時の対応，②元請への要望事項について，よく書けていた方が多かったです。ただし，①，②のそれぞれの内容が不十分なもの，所定の文字数に達していないもの，途中で終わってしまっているものも見受けられ，これらは，不合格としています。

（その他：合否に当たって）

・択一式問題や計算問題で高得点を獲得していても，記述式問題が合格基準に達せず，残念ながら不合格となった方がいます。登録コンクリート圧送基幹技能者の業務においては，現場や元請への提案力が必要とされることから，認定試験の記述問題では，ご自身の経験や考えを「文章にまとめる力」を判定しています。講習中に配布した文書の書き方の資料を参考に，過去に出題された問題で訓練を重ね，再度のチャレンジに備えてください。

・記述式問題で高得点を獲得していても，択一式問題が合格基準に達していない方もいます。登録コンクリート圧送基幹技能者として必要な知識の習得に努めていただきたいと思います。

合格された皆様には，登録コンクリート圧送基幹技能者としての責任と役割を改めて認識し，さらなる研鑽を重ね，第一線でますますご活躍されることを期待します。

今回，残念ながら合格に至らなかった皆様には，本総評で示した内容を今後の学習に生かし，次年度，改めて挑戦されることを期待します。追加試験の受験に加え，講習を再受講し，事前課題や自由研究に改めて取り組むことも，理解を深め合格への近道となるものと思います。再受講についても，ぜひご検討ください。